

# 【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

## ①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 病院管理部総務課

Ⅱ	施策	安心の医療体制を強化します
Ⅲ	基本事業	病院間および地域の医療機関などとの連携
	事務事業名	大学病院などへの協力要請／看護師配置の見直し／臨床研修医の積極的な受け入れ

<b>1. 基本事業の主旨・目的</b>
市民に安全で質の高い医療が常に提供される体制を築くため、市立の病院として地域医療確保のための諸問題について検討協議を行うとともに、国立及び民間医療機関との連携を強化し、ニーズに沿った医療提供体制を確保する。

<b>2. 基本事業の内容</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の派遣元である各大学の医局への働きかけ (常勤医不在の診療科の解消を図り、さらに複数医師体制を推し進める)</li> <li>医師に選ばれる病院となるべく、臨床研修医の積極的受入を図る。</li> <li>看護師の効率の良い採用、配置を行い、労働環境の改善及び離職防止に努める。</li> </ul>

<b>3. 事業</b>				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
121	地域医療審議会の開催	加賀市地域医療審議会条例に基づき、委員を委嘱又は任命し審議会を組織する。その中で地域医療施策に関する事項について調査審議する。平成21年度からは公立病院改革プランの検証・評価を主として開催している。	②継続	11.6 (6.8)
122	国公立病院の連絡協議会の開催 (地域医療連携連絡会)	病診連携、病病連携が重視される中、ほとんどの病院が地域医療連携室を設置している。病状に応じて適切な医療提供が行えるよう南加賀医療圏の公私立病院により年2回の意見交換会を開催している。	②継続	10.8 (10.2)
※ ( )内は人件費相当額で内数				22.4 (17.0)

<b>4. 主な財源の内訳</b>				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			22.4	22.4

<b>5. 実施状況等</b>
○地域医療審議会の開催 年間1回 (内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>病院改革プラン実施状況について</li> <li>病院改革プランの点検と評価について</li> <li>評価に基づく課題の整理と問題点の把握について</li> <li>市民病院と医療センターの相互協力体制について</li> <li>南加賀医療圏内の救急医療体制について</li> </ul>
○国公立病院の連絡協議会の開催 年間2回以上(平成21年度は3回) (内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携バスの策定状況について</li> <li>地域連携バスについての情報交換と内容の向上について</li> <li>各病院の取り組みについての情報交換</li> <li>その他具体例を元にした医療連携への取り組みについて</li> </ul>

## ②外部評価結果及び平成23年度予算要求の状況

⇒

1. 評価結果	コメント
<b>適切</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進行状況が市民に見えるように</li> <li>強力に進めること</li> </ul>

<b>2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容</b>
変更なし

<b>3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果</b>
地域医療審議会の機能、議論をより活発なものにしていただくため、市民病院及び医療センターの業務状況、経営状況について四半期ごとに各委員に報告を行う体制を整える。また、その中から各委員の要望があれば年間で複数回の開催も視野に入れ予算対応を行う。

⇒

4. 予算編成過程				【単位:万円】
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
24.1 (13.3)	25.3 (13.5)	25.2 (13.4)	25.2 (13.4)	
7.0 (6.6)	7.1 (6.8)	7.0 (6.7)	7.0 (6.7)	
合計	32.4 (20.3)	32.3 (20.1)	32.3 (20.1)	

⇒

<b>5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など</b>			
・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
経費報償費においては、地域医療審議会委員の報償を年2回分見込む。(平成22年度も2回見込み、現在のところ開催は1回である。)委員への四半期ごとの業務状況の報告を行うため経費消耗品費に1万円見込む。	No.121、122: 人件費相当額のみ調整により減額としたが、事業費については、要求どおり	No.121、122: 財政調整のとおり  常に、安全で質の高い医療が提供できる体制を整えるための、「地域医療審議会」や、国公立病院や民間医療機関との連携強化のための、「地域医療連携連絡会」は、医療提供体制を確保する上で、重要な会議である。	

# 【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

## ①基本事業における外部評価資料

		(担当部署) 病院管理部総務課
Ⅱ	施策	安心の医療体制を強化します
Ⅲ	基本事業	医療機器などの高度化
事務事業名		大学病院などへの協力要請／看護師配置の見直し／臨床研修医の積極的な受け入れ

<b>1. 基本事業の主旨・目的</b>
地域の中核病院として必要な医療機器を整備し、地域医療の水準の向上及び確保を図る。

<b>2. 基本事業の内容</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の派遣元である各大学の医局への働きかけ (常勤医不在の診療科の解消を図り、さらに複数医師体制を推し進める)</li> <li>・医師に選ばれる病院となるべく、臨床研修医の積極的受入を図る。</li> <li>・看護師の効率の良い採用、配置を行い、労働環境の改善及び離職防止に努める。</li> </ul>

<b>3. 事業</b>				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
123	CT・MRIなどの高度医療機器の更新	機器更新長期計画の作成・承認、当年度購入機器の選定、高額機種選定委員会の設置、他病院の情報収集、機器説明会の開催、比較検討、有効性及び導入方針の決定	②継続	6.8 (6.8)
※ ( )内は人件費相当額で内数				6.8 (6.8)

<b>4. 主な財源の内訳</b>				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			6.8	6.8

<b>5. 実施状況等</b>
<p>○診療業務方針ヒアリングの開催 年間1回 【管理者会議が各部門責任者より、各部門の年度方針について聞き取りを行う】 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の業務状況及び次年度の方針・計画について</li> <li>・次年度整備を必要とする医療機器等の整備について</li> <li>・中長期の整備予定について</li> </ul> <p>○医療機器導入選定委員会 年間1回以上 【各部門から要望のあった医療機器等から当年度整備を行う機器の選定を行う】 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行機器の耐用年数、使用状況、使用見込み、採算性、緊急度、将来性を考慮し当年度整備機器を決定する。</li> </ul> <p>○高額機器機種選定委員会 (1品1千万円以上の機器について) 【導入選定された機器のうち「1品1千万円以上の機器」についてその機種を選定する】 (内容)必要に応じて・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他病院の導入状況調査</li> <li>・複数メーカーによる機器説明会の開催</li> <li>・機器構成の検討</li> <li>・有効性の検討</li> <li>・価格を考慮し、総合的な比較検討と選定</li> </ul>

## ②外部評価結果及び平成23年度予算要求の状況

⇒

1. 評価結果	コメント
<b>適切</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は拡充に近い適切</li> <li>・戦略的にしっかりと調査して選定を行うこと</li> <li>・選定委員会に医師会等の委員を入れること</li> </ul>

<b>2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容</b>
変更なし

<b>3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果</b>
機器選定委員会へ外部委員として加賀市医師会を招請したいと考えている。紹介元医療機関の要望等を導入機器選定に反映することにより、より一層の医療機器の稼働率上昇と適正利用につながり、紹介率の向上にもつながる。

⇒

⇒

<b>4. 予算編成過程</b> 【単位:万円】				
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
6.6 (6.6)	7.4 (6.8)	7.3 (6.7)	7.3 (6.7)	
合計	7.4 (6.8)	7.3 (6.7)	7.3 (6.7)	

<b>5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など</b>			
・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
外部委員に対する報償として「経費報償費その他」に1回分6千円を計上する。医療機器導入選定委員会へ招請する予定	No.123: 人件費相当額のみ調整により減額としたが、事業費については、要求どおり	No.123: 財政調整のとおり  高度医療を提供するためにも、医療機器の選定は大変重要であるため、医療機器導入選定委員会は、内部はもとより、外部委員の意見を取り入れることで、より有効な機器の選定を行うことができる。	

# 【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

## ①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 病院管理部総務課

Ⅱ	施策	安心の医療体制を強化します
Ⅲ	基本事業	救急医療ネットワークの強化
事務事業名		大学病院などへの協力要請／看護師配置の見直し／臨床研修医の積極的な受け入れ

<b>1. 基本事業の主旨・目的</b>
救急患者の受入体制構築のための診療体制の構築を行う。また当番医の情報についての案内を行う。

<b>2. 基本事業の内容</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の派遣元である各大学の医局への働きかけ (常勤医不在の診療科の解消を図り、さらに複数医師体制を推し進める)</li> <li>・医師に選ばれる病院となるべく、臨床研修医の積極的受入を図る。</li> <li>・看護師の効率の良い採用、配置を行い、労働環境の改善及び離職防止に努める。</li> </ul>

<b>3. 事業</b>				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
124	救急医療ネットワークの強化	当番医情報のホームページ掲載 2病院の当番医の調整 医師会休日診療への協力及び医療資源等の提供	②継続	474.4 (150.4)
※ ( )内は人件費相当額で内数				474.4 (150.4)

<b>4. 主な財源の内訳</b>				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			474.4	474.4

<b>5. 実施状況等</b>	
○加賀市医師会休日診療	
診療日	日曜、祝日、年末年始年間1回
時 間	午前9時～午後0時30分
場 所	加賀市民病院
医 師	加賀市医師会員
内 容	
・平成21年度診療患者実績	
休日昼間診療患者総数	1,641人①
うち、医師会診療患者数	538人②(一日当たり7.7人)
割合(②/①)＝	32.8%
平成19年2月の事業開始から比べ、平成21年度は「医師会診療患者数」及び「診療割合」ともに上回った結果となった。	

## ②外部評価結果及び平成23年度予算要求の状況

⇒

1. 評価結果	コメント
<b>適切</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も徹底した議論を重ねること</li> <li>・救急体制の充実が市の強みとなるような取り組みを望む</li> </ul>

<b>2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容</b>
変更なし

<b>3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果</b>
将来の救急医療体制の構築を、総務部を中心として検討中

<b>4. 予算編成過程</b> [単位:万円]				
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
416.8 (132.8)	423.0 (135.0)	422.2 (134.2)	422.2 (134.2)	
合計	423.0 (135.0)	422.2 (134.2)	422.2 (134.2)	

⇒

⇒

<b>5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など</b>				
・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考	
病院事業会計の予算要求、事業概要としては前年度と同様の内容で継続。 一般会計において、医療提供体制調査検討費として事業費を計上している。	No.124: 人件費相当額のみ調整により減額としたが、事業費については、要求どおり	No.124: 財政調整のとおり  将来の救急医療体制を構築することは、市全体の緊急課題と認識しているが、構築が完了するまでは、継続して医療体制の確保を図る必要がある。		

# 【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

## ①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 病院管理部総務課

Ⅱ	施策	安心の医療体制を強化します
Ⅲ	基本事業	医療従事者の適正な確保と育成
	事務事業名	大学病院などへの協力要請／看護師配置の見直し／臨床研修医の積極的な受け入れ

<b>1. 基本事業の主旨・目的</b>
安定した医療提供体制構築の最大のポイントである医師を始めとする医療従事者の確保を目的とする。

<b>2. 基本事業の内容</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の派遣元である各大学の医局への働きかけ (常勤医不在の診療科の解消を図り、さらに複数医師体制を推し進める)</li> <li>医師に選ばれる病院となるべく、臨床研修医の積極的な受け入れを図る。</li> <li>看護師の効率の良い採用、配置を行い、労働環境の改善及び離職防止に努める。</li> </ul>

<b>3. 事業</b>				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
125	大学病院などへの協力要請	各科ごとの派遣元である金沢大学、福井大学、金沢医科大学への定期的訪問、当院の状況説明、大学側の状況の把握	②継続	35.2 (34.2)
126	看護師配置の見直し	職員採用の随時制の導入、看護学校への早期訪問、就職説明会でのプレゼンテーションの充実等により、特に採用数の確保に力を注いでいる。	②継続	59.7 (54.7)
127	臨床研修医の積極的な受け入れ	全科の医師に臨床研修指導医の研修を受講していただくことにより、研修医受入の間口を広げ、中核協力型病院へ変更する。	②継続	36.4 (0.0)
※ ( )内は人件費相当額で内数				131.3 (88.9)

<b>4. 主な財源の内訳</b>				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			131.3	131.3

<b>5. 実施状況等</b>
<p>○大学医局等への協力要請 月1回 (内容) ・金沢大学、福井大学、金沢医科大学への定期的訪問 当院の状況説明(循環器内科医の不足等) 大学側の状況の把握 等</p> <p>○看護師配置の見直し・採用数の確保 (内容) ・看護学校への早期訪問……5～6月 ・就職説明会での効果的説明……5～6月</p> <p>○臨床研修医の積極的な受入 毎年1名が指導医研修を受講 (内容) ・臨床研修指導医の要請(研修の受講が必要) ・常勤医27名中10名が受講済み(指導医が増えることにより、受入可能な診療科が増える)</p>

## ②外部評価結果及び平成23年度予算要求の状況

⇒

1. 評価結果	コメント
<b>適切</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の流れの中では適切</li> <li>抜本的な取り組みは、将来を見据えて検討すること</li> </ul>

<b>2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容</b>
変更なし

<b>3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果</b>
現在の医療提供体制の中では、現事業の継続

⇒

<b>4. 予算編成過程</b> <span style="float:right">【単位:万円】</span>				
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
34.2 (33.2)	34.8 (33.8)	34.6 (33.6)	34.6 (33.6)	
58.1 (53.1)	59.0 (54.0)	58.7 (53.7)	58.7 (53.7)	
55.5 (0.0)	393.0 (337.5)	391 (335.5)	391 (335.5)	
合計	486.8 (425.3)	484.3 (422.8)	484.3 (422.8)	

⇒

<b>5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など</b>			
・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
加賀市民病院での臨床研修の希望があった際には受け入れが出来るよう。予算確保は行っておく必要がある。(概ね3か月の研修期間)	No.125、126、127: 人件費相当額のみ調整により減額としたが、事業費については、要求どおり	No.125、126、127: 財政調整のとおり  医療従事者の適正な確保および看護師の効果的な配置のため、臨床研修医の受け入れ態勢の整備や、効果的な採用活動を行い、看護師確保を図る。	

# 【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

## ①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 病院管理部総務課

Ⅱ	施策	安心の医療体制を強化します
Ⅲ	基本事業	病院経営の健全化
	事務事業名	病院経営の健全化

<b>1. 基本事業の主旨・目的</b>
加賀市病院事業において赤字経営からの脱却を図り、健全経営を目指す。

<b>2. 基本事業の内容</b>
総務省に提出した公立病院改革プランに添って、目標設定及び経営改善を行う。

<b>3. 事業</b>				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
128	病院経営の健全化	経営本部会議での検討、定例運営協議会の経営検討、職員全体集会の開催	②継続	889.2 (889.2)
※ ( )内は人件費相当額で内数				889.2 (889.2)

<b>4. 主な財源の内訳</b>				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			889.2	889.2

<b>5. 実施状況等</b>
<p>○経営本部会議 週1回 (内容) ・経営本部長、副院長、診療部長、看護部長、管理部長、総務課長 ・経営状況の確認 ・経営改善方針の策定・修正 等</p> <p>○定例運営協議会 月1回 (内容) ・病院長以下、管理職等37名 ・月例経営状況の報告 ・経営方針の検討・承認 等</p> <p>○職員全員集会 4半期に1回 (内容) ・職員全員を対象 ・経営本部長を中心とする、経営状況の報告 ・経営方針の周知 等</p>

## ②外部評価結果及び平成23年度予算要求の状況

⇒

1. 評価結果	コメント
<b>適切</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正に近い適切。中身は拡充</li> <li>改革プランの評価が不十分である(データの公開等を含めて)</li> <li>市場での競争力が見えない</li> </ul>

<b>1. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容</b>
変更なし

<b>3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果</b>
現事業規模の継続

⇒

<b>4. 予算編成過程</b> 【単位:万円】				
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
863.2 (863.2)	877.5 (877.5)	872.3 (872.3)	872.3 (872.3)	
合計	877.5 (877.5)	872.3 (872.3)	872.3 (872.3)	

⇒

<b>5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など</b>			
・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
<p>純損益は平成19年度574百万円、20年度403百万円、21年度308百万円と改善した。22年度はさらに改善が見込まれ、また23年度においては、収支均等の予算を提出できる見込みである。以上のように経営健全化の効果は着実に上がっていることから、現在の実施内容を継続する。</p>	<p>No.128: 事業費全体が人件費のため、調整により減額とした。</p>	<p>No.128: 財政調整のとおり</p> <p>公立病院改革プランに基づいた病院経営を行ってきた結果、順調に健全化に向け、平成23年度は、収支均衡した予算を編成できたが、今後は、収支均衡にとどまらず、黒字経営を目指し、更なる経営改善に努める。</p>	